



Toho University

第41回
基調講演

全国保健師長会代議員総会

「みる・つなぐ・動かす

～保健師の原点から住民とともに創る未来」

東邦大学看護学部／大学院看護学研究科 教授
一社)全国保健師教育機関協議会 会長

岸 恵美子

本日のお話

1. 保健師の仕事とは
2. 保健師の教育の現場から
3. 「みる・つなぐ・動かす」を実践するために
4. 保健師に期待される役割



本日のお話

1. 保健師の仕事とは
2. 保健師の教育の現場から
3. 「みる・つなぐ・動かす」を実践するために
4. 保健師に期待される役割



保健師は黒子？

- くろ - ご【黒▽衣／黒子】

1. 歌舞伎で、俳優の演技や舞台進行の介添えをする人が着る黒い衣装。また、その人。人形浄瑠璃では、人形遣いが着る黒い衣装。くろんぼう。黒具 (くろぐ)。
2. 表に出ないで物事を処理する人。陰で支える人。「黒衣に徹する」
3. 大坂で、俄 (にわか) が流して歩くときにかぶった黒頭巾 (くろずきん)。



こんな保健師になっていませんか？

ケアシステムは保健師が構築しなくてもいいのでは？

個別の対応は得意だけどケアシステムはあまり…

健診とか所内の事業に追われて地域に出ていく時間がないわ



国から降りてくる仕事をこなすだけで時間がない…



あなたにはある？保健師の資質

- 健康や病気の予防に興味がある
- 人の役に立つとうれしい
- はじめての人とでも気軽に話せる
- いろいろ調べるのが好き
- 観察するのが得意
- 論理的・客観的に考えられる
- さまざまな人の考えや気持ちを受け入れられる
- アイデアをめぐらして、いろいろと工夫するのが好き
- **目の前のことだけでなく、ものごとの全体を見渡すのが好き**
- 責任感がある
- 保健師になりたいという熱意がある



全国保健師教育機関協議会監修；保健師まるごとガイド,ミネルヴァ書房,2012



保健師の仕事とは

- 個人・家族をケアするだけでなく、**その背景にある社会の問題を察知し、原因を探索して根本的な解決を図っていく仕事。**
- 問題を解決していくためには、個人や家族をケアすると同時に、**問題の原因や広がり、深刻さを探索しながら地域社会・職場全体に働きかけて解決していく高度な能力が求められる。**



全国保健師教育機関協議会監修;保健師まるごとガイド,ミネルヴァ書房,2012

保健師の行う看護管理

- 保健師の行う「看護管理」とは：ヘルスプロモーションの理念に基づき、公衆衛生看護活動を通して「地域住民自らが、自らの健康課題の解決・健康管理」ができるように支援するとともに、それらの個々の課題を、集団の健康課題として捉え、政策（組織）提言に結びつける一連の活動である。

担当する地域や対象集団が、より健康であるためには、どのような取り組み・活動が必要か？

担当する地域や集団には、何が足りていて、何が不足しているのか？

本日のお話

1. 保健師の仕事とは
2. 保健師の教育の現場から
3. 「みる・つなぐ・動かす」を実践するために
4. 保健師に期待される役割



国家試験出題基準【公衆衛生看護方法論Ⅱ】 (地域組織・地域への支援、事業化と施策化)

目標Ⅳ. 保健医療福祉における地域ケアシステムの構築について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
6. 地域ケアシステムの構築	A. 地域ケアのシステム化	a. 地域ケアシステムの概念 b. 地域ケアシステムの発展過程 c. ケアの連続性と継続性 d. 共通認識・合意の形成と目標の設定 e. 連携する関係者・機関の役割と機能
	B. ネットワークの形成とケアコーディネーション	a. 関係者・機関との連携・協働、パートナーシップ b. 連携のための会議の企画・運営
	C. 地域ケアシステムの評価	a. ネットワークによる実践・評価の体制づくり

保健師に求められる実践能力と

卒業時の到達目標と到達度

実践能力	大項目	中項目	小項目
I. 地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力	1. 地域の健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画・立案する	B. 地域の顕在的、潜在的健康課題を見いだす	8. 顕在化している健康課題を明確化する 9. 健康課題を持ちながらそれを認識していない・表出しない・表出できない人々を見いだす 10. 潜在化している健康課題を見出し、今後起こり得る健康課題を予測する 11. 地域の人々の持つ力(健康課題に気づき、解決・改善、健康増進する能力)を見いだす
		C. 地域の健康課題に対する支援を計画・立案する	12. 健康課題について優先順位を付ける 13. 健康課題に対する解決・改善に向けた目的・目標を設定する 14. 地域の人々に適した支援方法を選択する 15. 目標達成の手順を明確にし、実施計画を立案する 16. 評価の項目・方法・時期を設定する



保健師教育の内容と方法について

＜保健師に求められる能力＞

○保健師に求められる5つの実践能力のうち、「**地域の健康水準を高める社会資源開発・システム化・施策化する能力**」について、地域の特性や住民のニーズに応じた計画的で創造的な活動の展開における事業化の重要性を踏まえ、「**事業化**」を追加した。

○地域包括ケアシステム等の構築において、保健師の役割の重要性が増していることから「**ケアシステムを構築する**」を中項目に追加した。また、保健師活動の基本理念として「**倫理的課題に対応する**」を中項目に追加し、構成要素及び卒業時の到達目標にも項目として明記した。

○行政、学校、事業所等において、社会や組織の変革を促進するためには、集団を組織化し、社会資源を開発する実践能力が重要であることから、到達度を示すにあたり、「**集団／地域**」を「**地域（集団組織）**」に修正した。

保健師教育の内容と方法について

＜保健師に求められる能力＞

- 卒業時の到達度については、教育現場において、双方向性の講義や**シミュレーション**等を活用した**演習、実習と連動した演習**等により、更なる教育方法の工夫等が推進されることを勘案し、到達レベルを見直した。
- 職場生活集団及び学校生活集団の健康を守るための実践能力を強化**する必要性等から、保健師の活動の場として産業保健・学校保健を到達目標の小項目に追記するとともに、産業保健・学校保健も含む内容となるよう、全体的に表現を見直した。
- 健康危機管理における災害対応で、直ちに必要とされる能力**について、到達レベルを全面的に引き上げた。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正案

＜主な改正点＞

○昨今の災害の多発、児童虐待の増加等により減災や健康危機の予防・防止が重要となっている中、**疫学データ及び保健統計等を用いて地域をアセスメントし、それらの予防や防止に向けた支援を展開するとともに、健康課題への継続的な支援と社会資源の活用等を実践する能力の強化**が求められていることから、事例を用いた演習等の充実を図るため、「公衆衛生看護学」を現行の16単位から2単位増の18単位とした。

○ケアシステムの構築や地域ニーズに即した社会資源の開発等を推進するために、**施策能力の強化を目指し、政策形成過程について事例を用いた演習等の充実**を図るため、「保健医療福祉行政論」を現行の3単位から1単位増の4単位とした。

看護師等養成所の運営に関する 指導ガイドラインの改正案

1) 教育の基本的考え方

○対象集団の顕在・潜在している問題を把握する能力の強化、地域包括ケアシステム等の構築に向けて施策化する能力の強化、大規模災害や感染症等の健康危機管理能力の強化の必要性等を踏まえて、記載内容を修正した。

2) 留意点

○産業保健・学校保健における活動の展開や、健康危機管理能力、施策化等の求められる能力を演習を通して強化することを追記した。

○臨地実習については、保健活動の場が多様化していることから、保健所・市町村を含むことを前提としつつ、産業保健や学校保健を含む多様な場で学生が主体的に取り組むことができる実習を行うこと、個人・家族への支援の評価に基づいた訪問を含む継続的な保健指導を行うことを追記した。

○また、実習前後の講義や演習における教育内容・方法の工夫を図る余地があると考えられることから、臨地実習に加えてこれらの工夫が一層推進されるよう留意点に追記し、各養成所における実習施設の確保困難等の現状も勘案して、臨地実習の単位数は現状維持とした。



本日のお話

1. 保健師の仕事とは
2. 保健師の教育の現場から
3. 「みる・つなぐ・動かす」を実践するために
4. 保健師に期待される役割



あなたは「PDCA」を回していますか？

- ・「PDCA」を回して成果を出したいと思っているのだけれども、なかなかうまくいかない。
- ・「PDCA」のP(計画)とD(実施)はもちろんできているのだけど、C(評価)とA(改善)の部分ができないように感じる。

目的・目標が明確
になっているか？



計画が、目標達成
までの道筋に
なっているか？

「PDCA」ができているかをチェック！

- なぜ、この事業をするのかが言えますか？
- 保健師の専門性は何ですか？
- あるべき住民の姿をイメージできますか？
- ‘すべき目標’を立てていますか？
- 変えるべきところが明確になっていますか？
- 個人ではなく、チームで取り組んでいますか？
- チーム内で常に会話する時間をつくっていますか？
- できないことを、部署や個人レベルの問題にすり替えていませんか？

あなたは
「PDCA」が回
せています
か？



PDCAサイクル

どのような地域にしたいのか？
どのような住民になってほしいのか？

PLAN
(計画)

現状分析により、活動・事業の計画を立てる。
目標を立てる

DO
(実施)

これだけを行っていても、仕事を「こなす」ことになってしまう

CHECK
(評価)

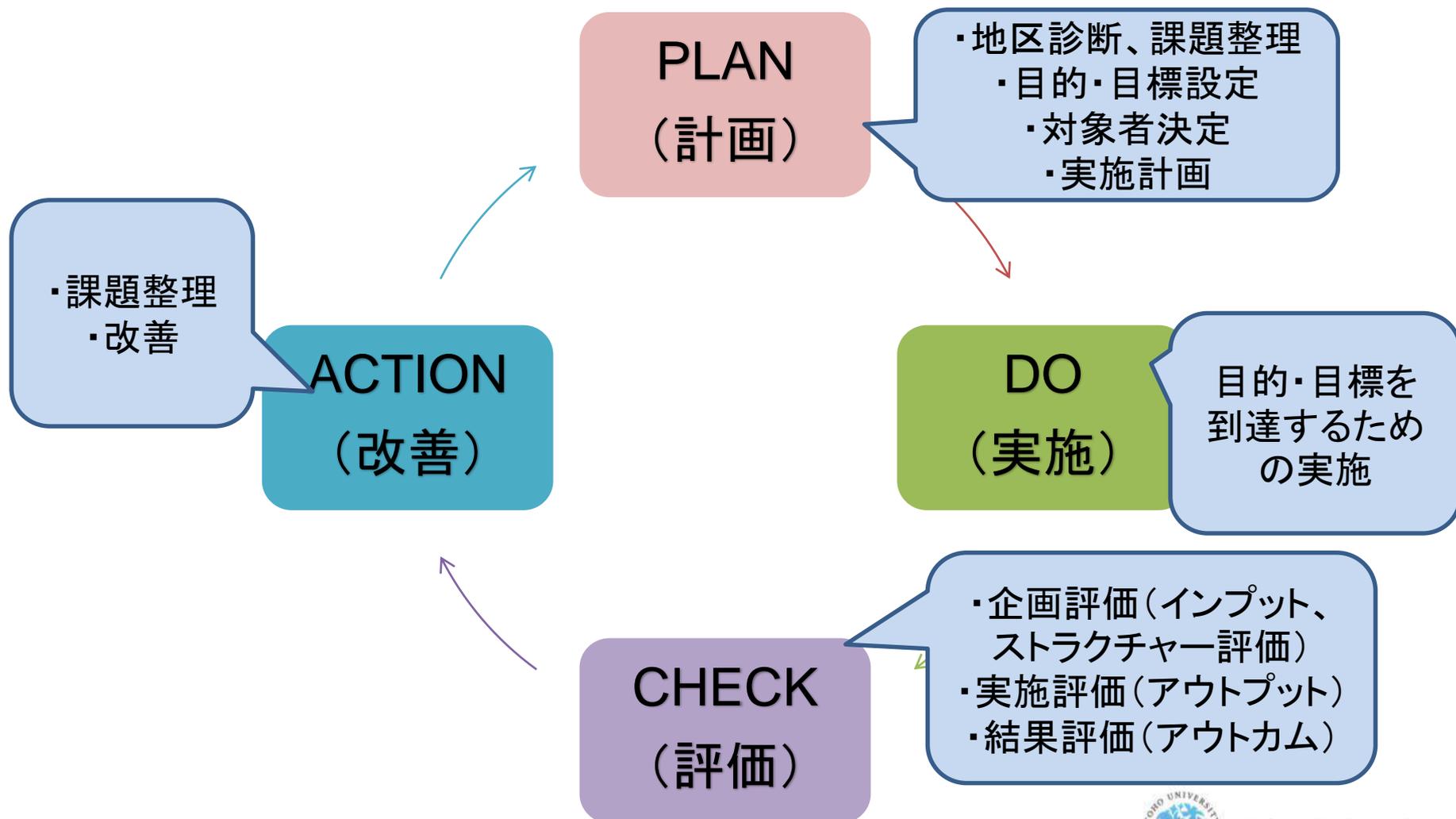
活動・事業の目標がどの程度到達できたかを評価する。

評価結果から、活動・事業の改善を図る。

ACTION
(改善)



PDCAサイクルと評価



公衆衛生看護活動における評価の現状と課題，図1を一部改変



「評価」が必要なのはなぜか？

どのような対象にどの程度寄与できたかという事業の信頼性の担保(活動の成果)とそれを立証するため



根拠に基づく活動の見直しを行い、活動の改善を行う

住民に対する説明責任を果たす アカウントビリティ(accountability)

- ・サービス提供側の判断や判断に基づく行動を社会(住民)に説明する義務がある。
- ・提供側が何をしているのか、なぜその事業なのか、何が住民の利益につながるのかを説明しないことは、健康に関わる専門職として責任を果たせない。

「評価」が必要なのはなぜか？

- 健康に関わる専門職としての**責任**
- 活動の**目的・目標**を設定する。
- 活動を**評価**する。

仕事を「こなす」のではなく、
事業・活動の
「目的を達成する」

「この事業を自分は何のために行っているのか？」「どうしてこの活動を行おうと思ったのか？」「住民にどうなってほしいと思って事業を始めたのか？」を考える。

評価により期待されること

評価：課題・目標を設定し、それがどこまで達成されたかを測る

- 担当者同士で事業を振り返り、業務の進行管理に役立つ
- 異動の際の業務の引継ぎや活動の方向性の確認に役立つ
- 他職種や関係機関、住民組織等との情報共有・活動の方向性の確認に役立つ
- 活動の成果から、事業の根拠が明らかになる
- 活動の意義が「見える化」できる

事業の根拠や活動の成果が明らかになり、スクラップ&ビルドの視点がもてる



本日のお話

1. 保健師の仕事とは
2. 保健師の教育の現場から
3. 「みる・つなぐ・動かす」を実践するために
- 4. 保健師に期待される役割**



＜保健師の保健活動の基本的な方向性＞

「地域における保健師の保健活動に関する指針」より抜粋

1. 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施

- ・調査研究、統計情報等に基づき、住民の健康状態や生活環境の実態を把握する。
- ・健康問題を構成する要素を分析し、健康課題を明らかにする。

2. 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開

- ・地域特性を踏まえて、集団に共通する課題を総合的に捉える。
- ・住民や組織同士をつなぎ、自助及び共助など住民の主体的な行動を促進する。

3. 地区活動に立脚した活動の強化

- ・積極的に地域に出向き、地区活動により、住民の生活の実態や健康問題の要因を把握する。
- ・ソーシャルキャピタルの醸成を図り、住民と協働し主体的かつ継続的な健康づくりを推進する。

4. 部署横断的な保健活動の連携及び協働

- ・必要に応じて部門や部署を越えて課題等を共有し、健康課題の解決に向けて共に検討するなど、部署横断的に連携し協働する。



保健師活動指針で保健師に求められている活動

- 個別課題から**地域の課題を総合的に捉える**視点をもって活動すること
- **予防的介入**の重視
- **地区活動を通して**住民の生活実態を把握し、また住民と協働して主体的な健康づくりを推進すること
- **地域特性に応じた**健康なまちづくりの推進
- **横断的な**保健活動の連携および協働



地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**

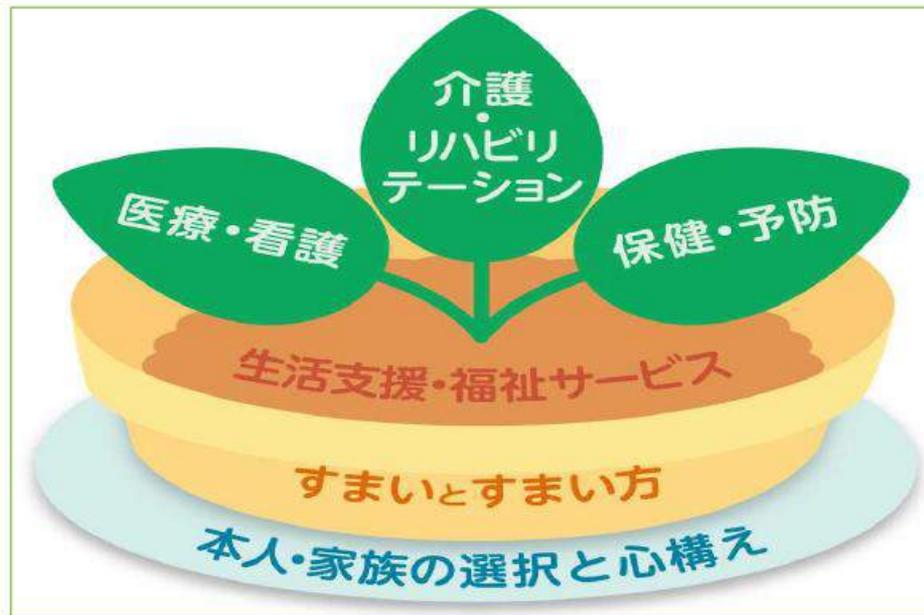
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**

地域包括ケアシステムの姿



地域包括ケアシステムの捉え方

- 地域包括ケアシステムの5つの構成要素（住まい・医療・介護・予防・生活支援）をより詳しく、またこれらの要素が互いに連携しながら有機的な関係を担っていることを図示したものです。
- 地域における生活の基盤となる「住まい」「生活支援」をそれぞれ、植木鉢、土と捉え、専門的なサービスである「医療」「介護」「予防」を植物と捉えています。
- 植木鉢・土のないところに植物を植えても育たないのと同様に、地域包括ケアシステムでは、高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供され、その住まいにおいて安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」があることが基本的な要素となります。そのような養分を含んだ土があればこそ初めて、専門職による「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」が効果的な役目を果たすものと考えられます。



出典：平成25年3月 地域包括ケア研究会報告「地域包括ケアシステムの構築における今後の検討のための論点」



保健師活動を展開するために

1. 地域診断によるニーズの把握

- ・実地調査、統計分析、住民や関係機関からの意見の分析などにより、地域の現状とニーズを把握する。

2. 目的・目標の設定

- ・目的:健康にどのような形で貢献するか(成果)を表現したもの
- ・目標:目的を成就させるための条件

3. 評価計画、評価指標の設定

- ・個人レベルの評価指標、集団レベルの評価指標、ケアシステムレベルの評価指標
- ・事業レベル、施策レベル、対策レベルの評価指標
- ・企画評価、実施評価、結果評価

4. 事業計画

- ・1つ1つの事業がどの目標達成に寄与する事業なのか
- ・目標達成するために有効に事業運営するためにどのような実施計画が必要か



地域包括ケアシステム構築と保健師の役割

- ・すべての住民が地域・生活の場で、自分らしく暮らし続けるための「切れ目のない支援」としてのシステム構築が地域に求められている。
- ・地域の特性と健康課題を明らかにし、関係機関と連携し、課題を共有し、医療と看護・介護の多職種をつなぐ。
- ・地域特性に合わせた在宅医療の推進、地域包括ケアシステムの構築のための計画を作成し、推進するには保健師が計画策定に関与することが不可欠。
- ・地域包括支援センター、訪問看護ステーションなど、多機関、多職種が情報共有できる環境づくりなどの基盤整備等が保健師に期待されている。
- ・健康課題を出発点に、既存の組織や制度等活用し、すべての住民が住み慣れた地域で、その人らしい生活が継続できるように、何が必要なのかを繰り返し考えてきた保健師の力を発揮する。



今後の保健師に期待されること

- これまで、地域における活動を保健師が中心に行ってきた蓄積を活かす。
- 看護職の強みである、医療、介護との連携のしくみで中心的な役割を果たす。
- 他職種、住民に保健師の必要性・存在意義を伝える。

**地域を知っているのは保健師
地域に必要な職種であることを
アピールしましょう！**

